

令和元年度 杉並区施策評価表 I

(0008)

施策	08	水とみどりのネットワークの形成
目標	03	みどり豊かな環境にやさしいまち
施策担当課	みどり公園課	関係課 土木計画課

施策目標
住宅都市に調和したみどりと建物でまちなみが構成され、自然が回復した川と古くからある屋敷林や農地が点在するなど、誰もが自然と共存することに感動と親しみを持つことができる成熟したまちづくりが着実に進んでいます。
防災機能を併せ持つ公園やオープンスペースが整備され、みどりがつながり、みどりの総量も増加しています。

活動指標		成果指標	
指標名(1)	接道部緑化助成延長	指標名(1)	緑被率
算式・指標説明	目標値は実行計画数値	算式・指標説明	29年度目標値はみどりの基本計画における30年度目標値、実績値はみどりの実態調査による(5年に1度)
指標名(2)	保護樹木指定本数	指標名(2)	区民一人当たりの都区立公園面積
算式・指標説明	目標値は実行計画数値	算式・指標説明	公園緑地等面積÷人口
指標名(3)	区立公園管理面積	指標名(3)	
算式・指標説明		算式・指標説明	
指標名(4)	当該年度に整備した公園面積	指標名(4)	
算式・指標説明		算式・指標説明	
		指標名(5)	
		算式・指標説明	
		指標名(6)	
		算式・指標説明	

区分	単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		目標値	目標年度		
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績				
活動指標	活動指標(1)	1	m	119	350	215	350	162		
	活動指標(2)	2	本	1,560	1,750	1,542	1,750	1,491		
	活動指標(3)	3	m ²	649,821	651,260	650,162	653,493	649,661		
	活動指標(4)	4	m ²	34,573	1,439	1,433	2,240	2,239		
成果指標	成果指標(1)	5	%	22.17	23	21.77	23	21.77	25 令和14年度	
	成果指標(2)	6	m ²	2.08	2.12	2.07	2.15	2.07	2.46 令和3年度	
	成果指標(3)	7								
	成果指標(4)	8								
	成果指標(5)	9								
	成果指標(6)	10								
施策コスト	事業費	11	千円	2,712,146	4,391,835	4,284,551	2,156,413	2,053,646	特記事項	
	(内)投資的経費等	12	千円	1,119,596	3,037,556	3,005,970	682,315	637,074		
	(内)委託費	13	千円	1,961,579	1,472,890	1,402,523	1,471,296	1,395,820		
	職員数	常勤職員数	14	人	46.19	43.57	45.22	43.52		50.16
		再任用職員数	15	人	36.03	28.00	28.03	27.90		28.00
		非常勤職員数	16	人	16.02	19.27	19.48	18.88		21.61
	人件費(14+15+16)	17	千円	601,247	553,219	569,952	553,003	613,554		
	総事業費(11+17)	18	千円	3,313,393	4,945,054	4,854,503	2,709,416	2,667,200		
	国・都からの補助金等	19	千円	200,855	790,327	378,135	68,700	22,900		
	総事業費伸び率(計画、実績の対前年度比)	20	%			46.5	45.2	45.1		
人件費比率(17÷18)	21	%	18.1	11.2	11.7	20.4	23.0			

<p>施策を取り巻く環境 (社会情勢、国・都の動き、 区民意見等)</p>	<p>昭和47年に実施した「杉並区緑化基本調査」では、緑被率は24.02%でした。その後の調査において緑被率は減少し、平成9年の調査では17.59%まで落ち込みました。その後、緑化意識の向上や緑化技術の進展により、平成24年度調査では緑被率は22.17%まで回復しています。平成29年度調査では緑被率は21.77%とわずかながら減少をし、横ばいの状況です。一方、まちの歴史とともに育まれてきた杉並の原風景を代表する屋敷林や農地は、緑被率の増減にかかわらずこの30年あまりで半減するなど、減少の一途をたどっています。東京都と区市町村が合同で策定した「緑確保の総合的な方針」に基づき、東京に残された貴重なみどりを次世代に引き継ぐ施策に取り組んでいます。東日本大震災後、防災機能を備えた公園や災害時の避難場所となるオープンスペースの確保が求められています。また、公園利用者は多世代に及んでいるため区民ニーズに即した公園整備が求められています。</p>
---	--

<p>施策の総合評価 (計画事業の取組実績と 評価結果)</p>	<p>今あるみどりを守り育てるため、民有緑地の保全や緑化計画・緑化助成の促進等により、新たなみどりを創出するとともに、公園等の整備を進め、みどりのネットワークの形成に取り組んでいます。みどりのベルトづくりでは、道路から見える植栽や緑の演出について区民向けの講座を開催し、制度の普及に努めました。「杉並区緑地保全方針」のモデル地区では、成田西ふれあい農業公園の運営やボランティア組織「みどりの支援隊」の活動支援、屋敷林所有者との連携によるイベント等を通じて、屋敷林や農地の保全に取り組ましました。区内の河川では、東京都と連携した河川整備を進め、治水安全性を高めながら多様な動植物が息生・生育・繁殖できる水辺環境の再生・創出に努めました。また、区民とともに水鳥一斉調査や親水施設の整備を行い、区民意識の高揚と魅力的な水辺環境の創出に取り組ましました。平成30年度は、下高井戸なごみ公園ほか2公園を整備しました。また、多世代が利用できる公園づくり基本方針の策定や(仮称)荻外荘公園の整備基本計画の策定を進めました。なお、長寿命化計画に基づき、10公園について公園施設の撤去・更新、及び補修を行いました。</p>
--	--

<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<p>今後の施策の方向性 現状維持</p> <p>今後の進め方</p> <p>屋敷林や農地をはじめ、杉並区のみどりの約7割は、民有地のみどりです。こうした貴重なみどりを重点的に保全するため、「杉並区緑地保全方針」に基づき、モデル地区での先行取組を継続し、杉並らしいみどりの保全につなげていきます。ボランティア組織「みどりの支援隊」との協働や、屋敷林所有者と区民との意見交換を実施することで、地域と共に屋敷林等民有地のみどりを保全する取組を推進します。農地については、特定生産緑地への移行を視野に入れ、関連部署と連携して農地保全の対策を講じていきます。さらに、保護指定や市民緑地等の制度を活用したみどりの保全や、緑化計画や緑化助成制度の促進等により、区内の新たなみどりの創出を進めます。水辺環境の整備については、水鳥一斉調査などにより、環境への関心を高め意識啓発を図るとともに、東京都をはじめとした関係機関との連携により、自然に配慮した河川整備に引き続き取り組まします。区立公園の整備については、区民の多様なニーズに応えるため、多世代の人たちが利用する魅力ある公園を整備していきます。合わせて、防災機能を備えた公園の整備により、安全安心のまちづくりに取り組まします。また、(仮称)荻外荘公園は整備基本計画に基づき基本設計を進め、総理大臣を三度務めた近衛文麿の政治の場となった昭和前期の姿に復原することにより、歴史的・文化的にも魅力ある公園として整備を進めていきます。</p>
--------------------------	--

令和元年度 杉並区施策評価表 I

(00009)

施策	09	持続可能な環境にやさしい住宅都市づくり
目標	03	みどり豊かな環境にやさしいまち
施策担当課	環境課	関係課 経理課

施策目標 各家庭や事業所、公共施設等において再生可能エネルギーの導入が進み、杉並産エネルギーが拡大するとともに、一層の省エネ・低炭素化の取組が定着し、災害に強く快適で環境にやさしい住宅都市づくりが進んでいます。
 。生活環境の改善に向けた様々な取組が各地域で活発に展開されるとともに、環境に対する区民の意識が向上しています。
 区立学校での環境教育をはじめ、あらゆる機会を利用した環境学習が多く開催され、児童・生徒を含む多くの区民が環境についての理解を深めています。

活動指標		成果指標	
指標名(1)	低炭素推進機器等導入助成件数	指標名(1)	区内の年間二酸化炭素排出量比率(平成17年度比)
算式・指標説明		算式・指標説明	
指標名(2)	電気自動車充電設備設置助成	指標名(2)	区内太陽光発電による発電量
算式・指標説明		算式・指標説明	区内太陽光発電機器設置数より年間発電量を推計
指標名(3)	地域清掃活動従事団体数	指標名(3)	環境に配慮した取組を行っている区民の割合
算式・指標説明		算式・指標説明	区民意向調査による
指標名(4)		指標名(4)	
算式・指標説明		算式・指標説明	
		指標名(5)	
		算式・指標説明	
		指標名(6)	
		算式・指標説明	

区分	単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		目標値	目標年度	
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績			
活動指標	活動指標(1)	1 件	583	500	618	500	571		
	活動指標(2)	2 件	0	7	1	7	5		
	活動指標(3)	3 団体	93	100	87	100	83		
	活動指標(4)	4							
成果指標	成果指標(1)	5 %	99.1	97.6	94.5	97.6	91.4	96.2 令和3年度	
	成果指標(2)	6 万kWh	1,739	1,760	1,804	1,913	1,870	2,280 令和3年度	
	成果指標(3)	7 %	82.4	95.0	82.0	96.5	80.8	100 令和3年度	
	成果指標(4)	8							
	成果指標(5)	9							
	成果指標(6)	10							
施策コスト	事業費	11 千円	516,149	488,580	397,944	423,790	395,889	特記事項	
	(内) 投資的経費等	12 千円	232,692	0	0	0	0		
	(内) 委託費	13 千円	420,029	386,996	301,776	324,077	299,293		
	職員数	常勤職員数	14 人	14.00	12.60	13.03	13.50		13.03
		再任用職員数	15 人	3.01	3.00	3.00	4.00		4.00
		非常勤職員数	16 人	7.77	8.27	7.73	6.80		6.92
	人件費(14+15+16)	17 千円	156,168	145,622	147,983	153,710	148,904		
	総事業費(11+17)	18 千円	672,317	634,202	545,927	577,500	544,793		
	国・都からの補助金等	19 千円	201,636	7,496	52,402	1,000	49,409		
	総事業費伸び率(計画、実績の対前年度比)	20 %			18.8	8.9	0.2		
人件費比率(17÷18)	21 %	23.2	23.0	27.1	26.6	27.3			

<p>施策を取り巻く環境 (社会情勢、国・都の動き、 区民意見等)</p>	<p>平成30年に国は第五次エネルギー基本計画を閣議決定し、再生可能エネルギーを主力電源と位置づけ新たなエネルギー政策の方向性を打ち出しました。区のエネルギー政策は、地球温暖化対策としての温室効果ガスの排出抑制と一体的に取り組む必要があることから、平成30年度改定の杉並区環境基本計画において杉並区地域エネルギービジョンを計画の一部に位置付けました。温暖化対策の取組には、住宅都市杉並の特性を踏まえ「建築物・住宅の省エネ化」による効果が期待されています。喫煙対策では、歩きタバコやポイ捨てが減少し、地域清掃活動にも支えられ、まちの美化が図られています。一方、改正健康増進法、東京都受動喫煙防止条例の施行に伴い、屋内禁煙が進むことにより、屋外喫煙の増加が予想されることから、より一層の受動喫煙防止対策が求められます。公害等の防止については、建物の解体に伴う騒音・振動、アスベスト飛散等への区民の不安の声は多く、特にアスベスト含有建築物の解体は今後も増加が予想されることから同様の傾向が続くと思われます。</p>
---	--

<p>施策の総合評価 (計画事業の取組実績と 評価結果)</p>	<p>低炭素化推進機器等導入助成事業では、平成29年度から新たに助成メニューに加えた高日射反射率塗装と窓断熱改修に対する助成件数が全体の約30%に達しました。今後も区のエネルギー消費量の約7割を占める家庭等への省エネ、創エネの強化を図るためにも、区民のニーズに沿った機器等の導入に努めていきます。喫煙対策については、巡回指導やイベント等の啓発活動により喫煙マナーは確実に区民に浸透してきています。管理不適正な空地等に関しては、福祉や保健部門等関連部署と連携し、事案の解決に努めました。区立学校での環境学習については、平成22年度から開始した中学生環境サミットは平成27年度から小・中学生による環境サミットに充実させ、環境について関心を持つ事業として定着しています。そのほか環境学習サポーターを学校へ派遣し、授業等において、より環境問題を身近に感じ、自分事として考える学習の場の充実を図っています。アスベスト飛散防止対策として除去工事現場への事前立入調査(38件)を実施したほか、建築部局との合同パトロールを3回実施しました。引き続き適切に指導を実施していきます。また、公害に関する苦情のうち複雑あるいは長期にわたる事例についても関係各課と連携し、問題の解決に努めました。</p>
--	---

<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<p>今後の施策の方向性 現状維持</p> <p>今後の進め方</p> <p>昨今の環境問題は、地球温暖化や気候変動、廃プラスチックによる海洋汚染、受動喫煙など地球規模のものから身近なことまで多岐にわたります。区は、個人ができることから、行動に移すきっかけや気づきとなるような、効果的な啓発事業等を様々な手法を用いて行っていきます。 令和元年6月に開催されたG20首脳会議で、2050年までにプラスチック海洋流出をゼロにする目標を採択し、また、国は早ければ令和2年4月からレジ袋有料化の義務化を行っていく方針である旨を表明するなど「使い捨てプラスチック削減」に向けて様々な動きが加速しています。区においても、いち早く取り組んできたレジ袋削減やマイバッグ利用推進はもとより、使い捨てプラスチック削減についても積極的に取り組んでいきます。 また、ポイ捨ての防止等、環境の美化から始めたたばこ対策も引き続き行っていくとともに、改正健康増進法及び東京都受動喫煙防止条例の施行に合わせて、受動喫煙防止対策にも取り組んでいきます。 今後も引き続き、環境に対する区民の理解を深め、環境意識の向上とともに、省エネ・低炭素化の取組が定着した持続可能な快適で環境にやさしい住宅都市を目指します。</p>
--------------------------	---

令和元年度 杉並区施策評価表 I

(00010)

施策	10	ごみの減量と資源化の推進
目標	03	みどり豊かな環境にやさしいまち
施策担当課	ごみ減量対策課	関係課 杉並清掃事務所

施策目標
 ごみの減量・資源化に向けて区民が主体となった取組が着実に進められ、資源回収量が増加し、ごみ量は着実に減少しています。集積所へのごみ出しルール・マナーが守られ、空き地や私道への不法投棄も減少し、まちの美観が保たれています。また、カラス対策の効果が上がり、集積所のごみの散乱は年々減少しています。

活動指標		成果指標	
指標名(1)	ごみの収集量	指標名(1)	区民一人1日当たりのごみ排出量
算式・指標説明	可燃、不燃、粗大の収集量	算式・指標説明	年間可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみ量÷人口÷365日
指標名(2)	資源の回収量	指標名(2)	資源回収率
算式・指標説明	資源回収量(行政回収分)	算式・指標説明	資源回収量÷(区収集ごみ量+資源回収量)
指標名(3)		指標名(3)	杉並区のまちを美しいと思う人の割合
算式・指標説明		算式・指標説明	区民意向調査による
指標名(4)		指標名(4)	
算式・指標説明		算式・指標説明	
		指標名(5)	
		算式・指標説明	
		指標名(6)	
		算式・指標説明	

区分	単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		目標値	目標年度	
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績			
活動指標	活動指標(1)	1 t	96,630	96,945	96,703	95,657	96,756		
	活動指標(2)	2 t	30,168	30,629	29,717	31,500	29,412		
	活動指標(3)	3							
	活動指標(4)	4							
成果指標	成果指標(1)	5 g	474	490	470	460	466	460 令和3年度	
	成果指標(2)	6 %	28.1	30.0	27.8	31.2	27.5	33 令和3年度	
	成果指標(3)	7 %	78.4	82.0	78.8	82.5	79.7	85 令和3年度	
	成果指標(4)	8							
	成果指標(5)	9							
	成果指標(6)	10							
施策コスト	事業費	11 千円	4,192,087	4,229,182	4,019,160	4,294,569	4,116,960	特記事項	
	(内) 投資的経費等	12 千円	0	0	0	0	0		
	(内) 委託費	13 千円	3,959,640	3,950,292	3,788,259	4,011,751	3,863,439		
	職員数	常勤職員数	14 人	244.34	226.75	232.95	212.70		238.68
		再任用職員数	15 人	12.77	9.00	9.41	8.00		8.38
		非常勤職員数	16 人	3.75	4.00	4.15	4.68		3.40
	人件費(14+15+16)	17 千円	2,159,241	1,992,828	2,055,160	1,876,510	2,058,778		
	総事業費(11+17)	18 千円	6,351,328	6,222,010	6,074,320	6,171,079	6,175,738		
	国・都からの補助金等	19 千円	267	313	168	310	199		
	総事業費伸び率(計画、実績の対前年度比)	20 %			4.4	0.8	1.7		
人件費比率(17÷18)	21 %	34.0	32.0	33.8	30.4	33.3			

<p>施策を取り巻く環境 (社会情勢、国・都の動き、 区民意見等)</p>	<p>平成25年4月から「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」が施行され、杉並区は平成25年10月から小型家電15品目の拠点回収を開始しました。 平成26年4月から一部地域を対象とした不燃ごみの再資源化事業は、平成29年10月に対象地域を区内全域へ拡大しました。 集積所の管理や、ごみ・資源の分け方・出し方に関する質問や苦情・要望が多く寄せられており、特に集積所の分散要望や外国人に対する分別方法等の周知を求める意見が多くなってきています。 ごみの減量に対する意識向上等のために発行している清掃情報紙「ごみバックン」やスマートフォンアプリ「なみすけのごみ出し達人(マスター)」等はおおむね好評を得ています。 平成30年4月から家庭での未利用食品を持ち寄る「フードドライブ」の常設受付窓口を区内4か所に設置しました。</p>
---	--

<p>施策の総合評価 (計画事業の取組実績と 評価結果)</p>	<p>「ごみ・資源の収集カレンダー」や清掃情報紙、スマートフォンアプリ「なみすけのごみ出し達人(マスター)」によるごみの分別・ごみ出しルールの周知徹底とともに、古紙や缶など資源の集団回収事業の拡充などを通して、ごみの減量・資源化に対する区民への意識啓発を行いました。また、更なるごみの減量に向けては、食品ロスの削減を目的とした「フードドライブ」の常設受付窓口を区内4か所に設置したほか、事業系食品ロスの削減に取り組む事業者等を「食べのこし0(ゼロ)応援店」として登録する事業を開始し、多くの区民や事業者の参加を得ました。 平成30年度の資源回収量は、従来の回収品目(古紙・びん・缶・ペットボトル・プラスチック製容器包装)の29,412tに加え、粗大ごみ、小型家電、不燃ごみの有用金属類の1,490tと集団回収分の5,833tを合わせて36,735tでした。 平成30年度の収集ごみ量は、平成29年度より53t増加し、96,756tとなりましたが、区民一人1日当たりのごみ排出量は466gと8年連続で23区最少となりました。一方、資源回収率は古紙、びん、缶の回収量が減少している影響を受け、目標値を下回っていますが、引き続き適正分別による資源化を促進します。</p>
--	--

<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<p>今後の施策の方向性 現状維持</p> <p>今後の進め方</p> <p>平成30年度に改定した杉並区一般廃棄物処理基本計画(平成30年度～令和3年度)において、令和3年度の計画指標(区民一人1日当たりのごみ排出量)を上方修正しました。計画指標を確実に達成するため、食品ロス(まだ食べられるのに捨てられてしまう食品)の削減を目指し、「フードドライブ」の常設受付窓口の拡大や「食べのこし0(ゼロ)応援店」事業の登録店の拡充に取り組むとともに、区民、事業者、関係団体及び区が一体となって、ごみを発生させないリデュース(発生抑制)の取組にも力を入れていきます。 また、資源回収率を高めるために、様々な媒体を通じた啓発活動により区民の意識を深め、更なる分別を徹底する必要があります。さらに、小型家電・粗大ごみ・不燃ごみの再資源化を着実に進めるとともに、新たな資源分別回収品目の追加に向けて調査、検討していきます。 このほか、「ごみ・資源の収集カレンダー」や清掃情報紙は分かりやすく、より伝わりやすい内容にすることで、ごみ減量の啓発活動や適正な分別等の周知を強化します。加えて、ガラスによる集積所への被害を防止するため、ガラスネットや折り畳み式防鳥ボックスの配付も継続し、集積所とまちの環境美化の向上を目指します。</p>
--------------------------	--